

ディノアドベンチャーナゴヤ

2016年7月にオープンしたディノアドベンチャー名古屋は、大高緑地の斜面地に設置された自然体験型恐竜探検アトラクション。動いて吠える実物大の恐竜模型が設置された樹林地内を巡ります。間もなくやってくる大型連休は、恐竜と会いに出かけませんか。

DINO ADVENTURE NAGOYA



TRICERATOPS

トリケラトプス
全長:約8~9メートル
体重:約7トン
生息年代:白亜紀後期
恐竜絶滅の時代まで生息した最大で最後の角竜



子どもも大人もワクワク 新恐竜が続々登場！

施設を運営する株式会社エヌエーと、設置してある恐竜を制作している郡上ラボは、ともに岐阜県郡上市の企業。もともと郡上市高鷲で運営していましたが、両社の「自然のなかで恐竜探検をするような経験をしてほしい」という思いが一致し、愛知県の公募に参加しました。

大人の速さで歩いて約30分のコースに、いまは22種の恐竜がいます。数カ月に一度、恐竜の入れ替えが行われるため、「新恐竜」が常に登場。曲がりくねつていたり、坂道があつたりと、探検の雰囲気漂うコースを興奮しながら進む親子の姿が見られます。

見どころは、長さ15メートル、高さ4メートルのティラノサウルス。「図鑑でしつかり調べてやってきて、散策中に『ティラノサウルスだ!』と興奮する様子を見るとうれしいですね」と代表の谷口潤さん。パンフレットに答えを書き込むようになつてるので、最後の答え合わせもお楽しみ。

「実物大といわれる大きさで、動く恐竜の迫力に触れてほしい」と支配人の山川朝慈さん。1本1本の指先まで細かく動き、さらに目にも動きを加えているので、散策中「はっ！」と驚く瞬間があります。皮膚、爪、傷など、本格的に作られた恐竜に、大人も子どもも興味津々。令和最初の5月の大型連休に、ぜひ出かけてみて。



(右)ディノアドベンチャー名古屋
支配人 山川朝慈さん
(左)ディノアドベンチャー名古屋
日置武史さん

上／ギガントラトルは2005年にゴビ砂漠で発見。草食とされながら大きなカギ爪と早く走る脚が特徴です
左／ティラノサウルス科の肉食恐竜アルバートサウルスは、カナダのアルバータ州で初めて化石が発掘されました



PHOTO SPOT!

ディノアドベンチャー名古屋のおすすめ撮影スポットはここ！



①アパトサウルス

3月9日に登場した新恐竜。全長約25メートルの大きさで、開けた場所に設置してあるので、迫力満点の写真が撮影できます



②入場ゲート

映画のセットのようなエントランスで撮影！「探検に出かけよう」という雰囲気満点！



③センターhaus

センターhausの屋根には動くブランコが止まっているので、背景にしてぜひ撮影をしてみて。

ディノアドベンチャー名古屋は、大高緑地のほぼ中央にある若草山の西側斜面、約3.2haに完成しました。大高緑地の魅力を一層高めるため、愛知県は民間企業のノウハウやアイデアを生かした新たな公園施設を設備・管理する事業者を公募。そのなかで採用されたのが、株式会社エヌエーによる「自然体験型恐竜探検アトラクション『ディノアドベンチャー名古屋』」でした。公募によりて民間事業者が県営都市公園に施設を設置するのは、愛知県で初めての取り組みでした。

約1年の準備期間を経て、散策できる精巧につくられた「恐竜」の世界を完成させています。

ディノアドベンチャー名古屋は、大高緑地の斜面地に設置された自然体験型恐竜探検アトラクション。動いて吠える実物大の恐竜模型が設置された樹林地内を巡ります。間もなくやってくる大型連休は、恐竜と会いに出かけませんか。

INFORMATION

住所／緑区大高町文根山1-1 電話／052(693)8798
<http://www.dinoadventure.jp/>
平日／10:00～17:00 土日祝／9:00～17:00
夏季／9:00～17:30
※入場券の販売は閉園1時間前まで
休み／月曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始

